

週末から今日にかけて暖かい日が続きました。また、明日からは寒くなるようです。三寒四温という言葉があり、もともとは朝鮮や中国の天気のことわざでした。冬は寒い日が三日、暖かい日が四日続き、寒い時は晴れ、暖かい時は天気が悪くなる、ということです。シベリア高気圧が強くなると寒気が吹き出して気温が下がり、弱くなると暖気が入ってきて気温が上がります。それにより天気が悪くなります。三寒四温という言葉は本来、冬の季語として使われていました。でも、日本は先ほどのような現象は、冬よりも春の方が起こりやすいのです。なぜなら、春は低気圧と高気圧が交互にやってきて、順番に寒くなったり、暖かくなったりを繰り返すからです。このことから、冬から春に向けて暖かくなっていくことを三寒四温と勘違いする人が増えていきました。そうはいっても、実際には日本の冬に三寒四温の現象が起きることはほぼありません。寒暖の差がはっきりと表れる二月から三月に、寒い日が続いたかと思うと暖かくなり… を繰り返して冬から春へ季節が変わっていく、というニュアンスで使われることが多くなりました。言葉は生きているので、たとえそれが間違った使い方だとしても、多くの人が使うとそちらの方が正しい使い方に変わっていきます。そして時代の変化に伴って、言葉の意味合いも変

わっていくことがあります。言葉って不思議ですね。辞書にも「気候がだんだん暖かくなる意にも用いる。」とあるように、三寒四温は時代とともに意味が変わっていった代表的な言葉といえます。今はまさにその時期といえるので、急に寒くなったり暖かくなったりします。ですからみなさんは、この時期、その日の気温に合わせて、服装を考えましょうね。そして、今週は読書週間です。いろいろな取り組みもありますので、たくさん本を読みましょうね。